

式 辞

厳しかった冬の寒さもようやく和らぎ、ここ山国にも、少しずつではありますが、春の息吹が感じられるこの佳き日に、山国支所長 古西穰司 様、中津市議会議員 草野修一 様をはじめ、多くのご来賓の皆様のご臨席を賜り、平成二十九年度卒業証書授与式が、このように挙行できますことに、卒業生はもとより保護者・教職員・在校生一同、心より感謝申し上げます。

九名の卒業生の皆さん、卒業おめでとう。

九名の君たちのがんばりは、素晴らしかった。特にこの一年間のがんばりは、最高学年としての自覚と責任感のもと、本当に目を見張る活躍であったと思う。

四月当初は、わずか九名で学校をリードできるのだろうか、心配していました。しかし、それは大きな間違いであったことに気づかされる日々の連続でした。

将来、君たちが社会に出て、誰にも負けない大人になってほしいとの願いから、伝えること、考えや気持ちを言葉にすることと言った、コミュニケーション力の向上に力を入れてきました。人前で、もじもじして考えを伝えられていなかった全校児童の前で、勇気を出して気持ちを伝え、発言してお手本になった君たちのお陰で、全校児童の気持ちや態度が変わってきたと思う。

君たちには、県内はもとより、県外や世界で活躍してほしい。社会に出て、ふるさと山国で培った多くの事柄を胸に、誰にも負けない君たちでいてほしい。

山国の山々の杉や檜は、種を撒き、植林をして五十年、百年、二百年と長い年月を経て建物などに姿を変えます。君たちは、この六年間で、たくさんの種類の小さな種を撒いてきました。今撒いた種は、山国の木々のように、将来きっと、立派な木となり、大きな実をつけることと思います。

私から、君たちへ三つのお願いを話します。

まず一つめは、自分から行動すること、実践することです。『人生は、思った通りにはならないが、やった通りにはなる。』（繰り返し）これは、私の体験からも言えることです。そのためには、日々の小さな積み重ねが大切です。以前の学校通信でも書きましたが、あいさつをしたり、自学（自分勉強）をしたり、運動をしたりと、その一つ一つをすることは、平凡なことです。平凡とは、特別なことではないことです。それを当たり前前に平凡に続けること、続ける力こそが非凡です。非凡とは、凄いこと特別なことなんです。このことを昔の人は、『継続は力なり』という言い方をします。「なりたいではなく、『なる』。したいではなく、『する』』という強い気持ちで取り組むことです。

二つめは、たくさんの知識を身につけ、チャレンジし続けてほしいと言うことです。皆さんが社会に出る頃は、今ある仕事の半分近くがロボットやコンピューターにとって変わると言われています。これからの君たちは、新しいことにチャレンジすることを忘れてはいけません。今はインターネットの時代となり、山国の田舎にいても、世界の情報を瞬時に得ることができます。その情報を活用するために新聞を読んで下さい。たくさんの本を読んで下さい。最後に勝負に勝つのは、知識の多さ、情報量の多さです。

三つめは、『なくてはならない人になってほしい』と言うことです。

頑張るのは自分ですが、君たちは決して一人ではありません。学校では、先生方。おうちでは、家族。そ

して地域の方々。たくさんの人たちが君たちの味方です。困ったときには、一人で悩み続けず、そばにいる人に相談して下さい。自分では大変と思うことでも、相談してみればすぐに解決することもあるはずです。そこで、私から君たちにお願いがあります。君たちは、誰もがかげがえのない人たちです。君たち一人一人は、他に代わりがないのです。だから、これから今いるその場所で、なくてはならない人になる努力をしてほしいのです。『君がいるから、いつも笑顔で楽しい』『貴方に算数のことを聞けば、丁寧に教えてくれてよくわかる』『君は、お掃除が上手で、教室がいつも綺麗』など、何でもいいから得意なことを磨き、なくてはならない人になってほしい。

そうすれば、たくさんの人が集まり、大きな信頼を得ることができるはずです。人に頼られると言うことは、生きていくための大きな力となることは、間違いありません。

最後になりましたが、保護者の皆様、本日はおめでとうございます。

入学して六年間、子どもたちのためにたくさんのご苦勞や感動があったと思います。今日の姿をご覧下さい。こんなに立派に成長しました。これもひとえに家庭でのご指導、ご支援の賜と思っております。六年間子どもたちのために、チーム三郷として、教職員一同一丸となって、よりよい教育をめざしてきたつもりですが、十分ではなかったかもしれません。

六年間の三郷小学校へのお力添えに感謝申し上げますと同時に、厚く御礼申し上げます。

ありがとうございました。

小学校卒業という、一つ目の大きな節目を迎えました。子どもたちの未来が開かれたものでありますことを祈念しております。これからも、子どもたちの気持ちにより添い、陰になり日向になり、力添えしてほしいと思います。私たちも、末永く応援しています。

さあ、いよいよ旅立ちの時、夢と希望をしっかりと胸に抱き、ふるさと山国を誇りに思い、未来の扉を開けて、世界に飛び立ってほしいと思います。心からエールを送ります。おめでとう。

平成三十年三月二十日

中津市立三郷小学校

校長 梶原直樹